

手をつなぐ

題字 藤本利夫書

〈1988年7月9日創刊〉
 発行2018年10月1日 〈毎月1日発行〉
滋賀県民主教育研究所
 〒520-0052大津市朝日が丘1丁目
 11-3 教育文化会館2F
 TEL & FAX 077-525-5364
 教育110番 077-523-3715
 eメールshiga.minken@gmail.com
 HP:ht tp://shiga-minken.jindo.com/
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)
 ①ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576
 ②滋賀銀行本店営業部/普通口座511256
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

学校と刑務所

本田 清春 (元小学校教諭)



今、子どもたちを襲っているのが学校スタンダード化とゼロトレランスであり、学校の目的が全国学力テストの成績向上に置いて運営されている点である。教室で「帰りのあいさつ」をした後、子どもたちは教室の後ろに並び、廊下を黙って二列歩行で昇降口まで歩く。掃除中、給食中もしやべらず静かにすることが強制させられる。机上の教科書・ノート・筆箱の置く位置から、学習中の挙手・発表のしかたの所作まで、いわば学校での生活すべてが精緻化したスタンダードで管理されるのだ。さらにまた、8月9日大津の越直美市長が総合自教育会議の席で「テストの一週間、過去の問題をやれば全国平均を越えられる」と市教委に提案したというが、子どもを管理し利用して、自分たちの権力を維持しようとするあけすけな介入が進行している。

刑務所では刑務官の監督の下、受刑者は規則正しい生活を強制され、移動中も食事中も掃除中も黙って行うこと、また点呼の時ははっきり声を出すことが求められ、刑務官の指示に従わない者は独房に入れ、指導が加えられるという。広島県福山市の例だが、「学校にガムを持つてきた」「配布物を紙飛行機にして飛ばした」そんな理由でも生徒は別室へと送られる。薄いベニヤ板で仕切った小部屋を三つに仕切った小部屋は、日中も窓にカーテンが掛けられて寒い。違反があれば5日間別室で指導を受けなければならぬ。教員は指示に従わない生徒を「別室に行かず」と脅す。生徒が理由を尋ねても「規程にそう書いてある」。そこでは「薔薇」という字を400回書かされた。「校歌を何度も書き写せと言われた」(高知新聞2018年7月31日付)。こうした「刑務所」生活と今進行している学校スタンダード化とゼロトレランスがどこかシンクロしていないだろうか。

- 子ども同様に教師にもスタンダード化は課せられている。給食物の配布ではお手伝い係が手伝い、素早く準備を済ませおしゃべりしながら給食している自分の教室に学年主任が「この教室は荒れてい
- 《 今月の紙面 》
- 学校と刑務所／本田 清春 …P1
 - 新学習指導要領で高校はどう変わるか／児美川 孝一郎さんの講演から …P2, 3
 - 学校体育研究同志会第156回全国研究大会報告／加登本 仁 …P4, 5
 - 教室に「自由」と「文化」を～Hくんの1年間を通して／倉田 知子(仮名) …P6, 7
 - 滋賀の教育動向 7・8月 …P8



(ほんだ きよはる)

るね」と指導が入ったという。この若い教師の次の言葉にもドキッとさせられた。「夏休み家庭訪問したのですけど、夕食準備をしてもらっていない子どもと出会いやるせない気持ちになりました。学校では給食が毎日食べられ、この子らにとって学校はいいところだと思えましたよ」。

しかし、これが子どもを育てる場所といえるだろうか。学校は、毎日面白いところがたくさんあるところではないのだろうか。